

# 平成31年度 福祉教育・福祉体験講座



参加費無料

現在、多くの企業・団体において、社員教育の一環として、福祉の理解に関する研修が行われています。その目的としては、福祉の制度や実態、障害者や高齢者についての理解、車いすの操作方法などを学び、日々の営業や接客、商品開発などに活かしていくことで、顧客満足度の向上や社会(地域)貢献活動へとつなげていくことなど様々です。

毎年、市・区社会福祉協議会においても企業・団体から福祉の理解に関する研修実施の相談をいただいております。

本講座では、今までに企業・団体で実施いただいた研修について紹介するとともに、社員研修の一つの見本としてプログラムを提案いたします。また、障害者理解をテーマに当事者の方の生の声を聴いたり、体験を通して企業・団体に何が求められているかを知り、接遇の向上やものづくりなどの業務の参考に役立てていただければと思います。

日時



令和2年2月28日(金) 13:00~16:00

場所



広島市総合福祉センター 5階 ホール  
(南区松原町5-1 BIG FRONT ひろしま)

対象



企業・団体のCSR担当者、研修担当者

内容

- 説明 「企業と社協の関わりについて」  
: 広島市社協職員
- 講義 「車いす利用者理解について」  
: 井上 一成 氏
- 講義 「視覚障害者理解について」  
: 森井 豊 氏
- 体験 「車いす体験」、「視覚障害者体験」
- 振り返り・質疑応答
- まとめ

《定員》

40名

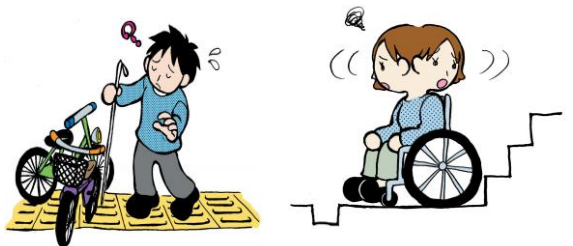
《主催》

社会福祉法人 広島市社会福祉協議会

《後援(予定)》

広島商工会議所

一般社団法人 広島青年会議所



【講師プロフィール】

○井上 一成 (いのうえ かずなり) 氏

現在もみじ福祉会理事長。名古屋の日本福祉大学を卒業後、広島の作業所づくり運動に参加。重い障害がある方をうけとめた広島市ではじめての小規模作業所「もみじ作業所」の立ち上げに参加。現在も「障害者生活支援センターめーぷる」の相談支援専門員として仕事をしている。作業所の全国組織である「きょうされん」の全国理事、「広島県知的障害者福祉協会」副会長なども務めている。

○森井 豊 (もりい ゆたか) 氏

55歳の時、網膜色素変性症を患い、視力低下により車の運転、パソコン入力などが難しくなる。家具や医薬品販売の営業の仕事に支障をきたすようになり、退職。

視覚障害者の交通事故や駅のホームから転落をして列車にはねられる死亡事故が多発し、これをなくすことを目的として2015年に6名で「チーム白杖」を結成。地域のイベント等で「白杖 SOS シグナル」の認知度を高める活動を始める。

2016年に「白杖 SOS シグナルをひろめる会広島」を設立し、小・中学校での福祉学習や公民館等での講演を通じて、視覚障害者の理解を深める活動を行っている。

《申込み方法》

申込書に必要事項をご記入の上、2月21日（金）までに下記申込み先まで申込みください。  
※ただし、定員に達するまで受け付けします。

《申込み・問合せ先》

社会福祉法人 広島市社会福祉協議会  
ボランティア情報センター（担当：高路・矢山）  
TEL 264-6408  
FAX 264-6416  
E-mail [voinfo@shakyohiroshima-city.or.jp](mailto:voinfo@shakyohiroshima-city.or.jp)



平成31年度 福祉教育・福祉体験講座 参加申込書

締切日：2月21日（金）

企業・団体名： \_\_\_\_\_

	氏名	所属・部署等	連絡先（直通電話等）
1			
2			

※参加を希望される場合は、氏名、所属、連絡先を記入し、お電話又はFAX、メールにてお申込みください。